

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871900288		
法人名	株式会社 長寿館		
事業所名	グループホーム 柏田長寿館	ユニット名	9名
所在地	〒300-1232 茨城県牛久市上柏田2-36-1		
自己評価作成日	平成24年6月24日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0871900288-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年8月30日	評価確定日	平成24年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

散歩（高齢に伴い下肢筋力の低下、気分転換、季節感、温度感、日光浴等を兼ね、雨天、強風雨以外ほぼ毎日決行）

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者は寝る時以外は殆どの時間を1階の居間でゆったりと穏やかに過ごしており、事業所全体が家庭的な雰囲気である。
管理者は職員と日頃から何でも話せる関係を築くなど、働きやすい職場の環境づくりに努めている。
利用者の筋力低下防止や気分転換、日光浴を兼ねて、天気の良い日にはほぼ毎日事業所周辺の散歩を支援している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ゆったり、一緒に、楽しく、豊かにその人らしく、地域の中で暮らしていける事を理念に掲げています	法人の基本理念のほか、全職員で協議して作成した事業所独自の理念は、地域密着型サービスの意義を踏まえたものとなっている。 管理者と職員は毎日朝礼時に理念を唱和し、共有して日々の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の人たちとの挨拶や声掛けを通じ交流するとともに、近所の商店へ行ったり、買い物をしたり、畑の野菜をいただいたりしています	自治会に加入し、回覧板を回したり地域の祭りに参加して地域住民との交流に努めているほか、自治会見守り隊の巡回経路に事業所を加えてもらっている。 利用者は職員と一緒に近所の商店に買い物に出かけ、店先でお茶を飲みながら地域の人々と会話を交わしたり、地域住民から畑で採れた野菜を頂くなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩中、近所の方が、足を止めて声をかけてくださいます		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御家族や地域代表の民生委員さん方達とよく話し合い、出た意見をサービスの質の向上に活かしています	運営推進会議は利用者の家族等や地域包括支援センター職員、協力医療機関の医師や看護師、民生委員、管理者、介護支援専門員で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所から活動報告や利用状況の説明、家族アンケートの結果報告をしているほか、委員と活発な意見交換を行い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 運営推進会議の機会を利用し、協力医療機関の医師による熱中症対策の研修を行ったり、地域包括支援センター職員による介護保険法改正の説明を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	窓口へ相談に伺っています	毎月介護相談員が来訪した時に事業所の実情やケアサービスの取組みを報告している。 管理者は市役所に出向いて利用者の入退居状況を報告しているほか、市担当者から相談事への助言を得るなど、協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしない、ホールの戸は網戸にし開放しています	全職員は月1回の勉強会で身体拘束の内容とその弊害について正しく理解し、身体拘束をしないケアに努めているが、建物の構造上2階に居室があるため、利用者にとって危険な箇所である階段には家族等に説明して同意を得たうえで施錠している。 玄関の施錠はしておらず、エレベーターは常時使用可能になっている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について勉強会を開き、虐待をしないように心がけ努めています			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加しています			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明をし、理解していただけるように図っています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の懇談会や、運営推進会議の内容を反映しています	利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは年2回行う家族会や面会時に意見や要望を聴くように努めているほか、介護相談員を受け入れたり意見箱を設置している。 年1回家族アンケートを実施して意見等を聴取し、出た意見等は職員会議や運営推進会議で協議して運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回ミーティングを開き、意見交換をしています	管理者は日頃から職員が意見や提案を出し易い環境を築いているほか、個々の事情を組み入れて働き易い職場の環境づくりに努めている。 管理者は月1回の会議で職員から意見等を聞き、献立作成に関する意見や食材購入、備品購入、勤務体制の変更など、職員から出た意見等を検討して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の要請により積極的に出席し、トレーニングをするよう努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	相互訪問し、交流会に参加し、向上の取り組みに努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アンケート等に基づきながら話をし、安心してできるような関係づくりに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アンケート等に基づきながら話をし、安心してできるような関係づくりに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	親子や時には、友達のような関係に接している時もあります		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話をかけて声を聞いていただいたり、本人が納得のいけるように努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族、ご友人さんたちが面会に来やすい環境に努めています	アセスメントを利用したり、利用者や家族等の話から利用者の生活歴や馴染みの人や場所を把握している。 職員は利用者の馴染みの人がいつでも気軽に来訪できるようお茶を出して接待するなど、今までの関係が途切れないよう支援しているほか、利用者が馴染みの電気屋や美容室に行けるよう同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、会話の出来ない人などの関係により支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も関係性を大切に、相談事など話し合いをしております		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同生活なので、多少なりとも制約はありますが、本人の尊重ができるように努めています	職員は利用者がその人らしい暮らしが続けられるように日常の係わりや会話を通して希望や意向を聴いたり、家族等から情報を得るとともに、申し送りノートに記録して共有している。 意思表示が困難な利用者の場合は、日々の生活の中での表情や行動から利用者の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々により違いはありますが、ゆったりと家庭的な雰囲気的生活を過ごしていただけるように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成しています	介護計画は介護支援専門員が利用者や家族等の希望を取り入れ、月1回の会議で主治医や職員の意見をまとめて作成し、6ヶ月に1回見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、利用者や家族等の同意を得ている。 モニタリングは3ヶ月に1回行い、結果を記録して職員で共有している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や個人記録により、日々情報共有しながらのケアと、介護計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のその時の状況をご家族に相談し、支援を変えたりしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	努めています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の診療所にて、急変時等すぐ受診ができ、月2回の往診も行っております。また、他の医療機関も希望に応じて受診をおこなっております	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 隣接している協力医療機関から月2回訪問診療があるほか、協力医療機関の看護師による毎日の夜間巡回や週2回の健康チェックがある。 協力医療機関の医師や看護師と連携し、利用者の急変時には適切な医療が受診できる体制が整っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	特変等があった場合、随時状況を報告し、適切な受診ができるよう支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	近隣の診療所や他の医療機関に入退院のための情報交換や相談の関係作りを取り組んでいます		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ADLの低下に伴い、ご家族様に随時報告、相談を行い、話し合いを設けています	「看取り介護に関する指針」を作成するとともに、重要事項説明書に看取りの指針を明記しているが、重度化や終末期対応マニュアルを作成するまでには至っていない。 主治医の診断に基づいてできるだけ早い段階から家族等や主治医、事業所で話し合う機会を設けているが、意思確認書を作成するまでには至っていない。	重度化や終末期対応マニュアルを作成するとともに意思確認書などの書式を整えるほか、職員研修を実施したり協力医療機関と話し合い、看取り介護実施に向けた体制づくりに取り組むことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	近隣に診療所、又夜間看護師の巡回による待機番等に相談、医院長の指示のもと手当や対応を身につけています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等、定期的に行っています	年2回消防署の協力を得て昼間や夜間を想定した避難訓練を実施している。 近隣住民の避難訓練への参加や協力を継続して働きかけているが、実現するまでには至っていない。 避難訓練の実施記録は作成しているが、課題についての話し合いの状況が明記されていない。 災害時に備えて食糧や飲料水などを備蓄している。	災害時に備えて地域住民の協力体制を構築することを期待する。 避難訓練で明らかになった反省点や課題の話し合いの状況を記録に残し、次回の訓練に活かすことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は常に利用者の尊厳に配慮した言葉かけや対応に努めています	職員は接遇研修を受講しており、利用者の個性を把握して一人ひとりの人格を尊重しながらプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人のやりたいことを自由にできるようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースにそって暮らしを支えるようにしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員による整髪をしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が食材の仕入れ、栄養バランス等を考慮して、利用者様が喜んでいただけるように努め、偏食を少なくしています。 レベルの低下により食事の片づけをする方は少なくなりました	職員は栄養バランスを考慮しながら利用者の好みを取り入れた献立を立て、食材を購入して事業所の厨房で調理をし、温かい食事を提供している。 季節に合わせた行事食や出前の寿司を取り入れるなど、食事が楽しみなものになるように努めている。 利用者はできる範囲で後片付けやテーブル拭きをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録に水分量を記載し、水分量に注意しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科受診の利用者様もおられ歯科衛生士の方や先生にもケアについて指導を受けています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりのADLに合わせ、Dパンツ、パット等を使用し、日中はトイレでの排泄を行っています	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らって声かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援している。 夜間は時間を決めてトイレ誘導をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く取り入れた食事を提供し、散歩、リハビリ体操等を行い便秘予防をしています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週3回支援しています（入浴剤入り）季節により、菖蒲湯や柚子湯などで楽しんでいただいています。入浴日にあたってない利用者さんは足浴等の支援を行っています	入浴は基本的には週3回支援しているが、毎日入浴ができる体制になっている。入浴しない日には足浴の支援を行っている。柚子湯や菖蒲湯を取り入れたり入浴剤を使用するなど、利用者が入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	すぐに休まれてり、テレビを見てから休まれるなど、それぞれの生活習慣に応じ、過ごしていただき、室温管理、定時巡視を行い、安心して休んでいただくよう心がけています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬指導の先生により、一人ひとりの説明を行ってもらっています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ等、手伝っていただいたり、レクリエーション、散歩、気分転換を交えて過ごしていただいています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良い日はほぼ毎日散歩に出かけています。それ以外に希望のある方は、手の空いているスタッフと近所まで外出したり、遠い場合はご家族に協力頂き、外出できるようにしています	天候の良い日には事業所周辺を散歩して五感を刺激したり、四季の移り変わりを楽しんでいる。 家族等の協力を得て毎年恒例の牛久大仏への初詣や花見、地域の祭りなどに出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームの方で管理しています。希望に応じて使えるように支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により支援しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スナップ写真や、季節ごとの作品を飾り、季節感を取り入れ、童謡、ポップス等の音楽のCDを流しています	明るく広々とした居間に大きなテーブルやゆったり寛げるソファを設置しており、居心地のよい空間になっている。 壁には職員が描いた利用者一人ひとりの似顔絵を掲示し、温かい雰囲気演出している。 利用者が多くの時間を過ごす居間には童謡やポップスなどの音楽を流し、居心地よく過ごせるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間の隣に和室があり、横になったり、1人になれる空間がありソファにも腰かけたり、横になって休まれたりして過ごされています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所する際に、使い慣れた家具などを置いていただいています	利用者は居室に使い慣れた家具やテレビなどを持ち込んでいるほか、家族等の写真を飾ったり仏壇を置き、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」「わかること」などが難しくなっている日常で、パターン化されていますが、「やれること」だけの繰り返しています (歌、リハビリ体操、口腔体操、脳活性ゲーム等)		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム柏田長寿館

作成日 平成24年11月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実施	基準における禁止の対象となる具体的な行為の理解	玄関施錠、戸は網戸にし開放「ダメ」と言わない	進行中
2	26	チームで作る介護計画をモニタリング	個々のニーズに添った介護計画作成	現状に即したケアの内容のアイデアや意見を出しあう(カンファレンス)	進行中
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ターミナルケアについて学んでいく	高齢に伴い、落ち着いて対処、対応又は、ご家族等への支援	1年
4	34	急変や事故発生時の備え	技術を身につける	定期的実践したり、講習会に参加していく	1年
5	48	役割、楽しみごとの支援	気分転換の支援を多くしたい	イベント(家族会)を多くしたい	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。